

多彩にもものづくり体験

秋田職能短大

5年ぶり「杉風祭」



学生の指導を受けながら組子コースターを製作する参加者（秋田職能短大）

秋田職業能力開発短期大学校（中村雅英校長）の学園祭「杉風祭」が14日、同校で開かれた。多くの親子連れらが訪れ、多彩なものづくり体験を楽しんだ。

同校の認知拡大とまちの活気づくりを目的に、学生自治会（奈良岡海誠会長）が中心となって企画運営。コロナ禍を経て5年ぶりに開催した。生産機械技術、電子情報技術、住居環境3科の学生が、ものづくり体験教室を開いたほか、屋台やスタンプラリ、お楽しみコーナーなど多

岐にわたって展開した。

体験教室では学生が指導者となり、各科の特色を生かしたものづくり体験を行った。このうち住居環境科は、伝統工芸の組子を用いたコースター製作を実施。参加者は学生が用意したキットを使って接着剤を付けたり、長さを調整したりして完成させていた。

家族3人で訪れた市内の女の子（8）は「組み立てるのが難しかったが、お姉さんが優しく教えてくれた。熱いコップを置くとときに使いたい」と笑顔を見せた。